沖縄県平和祈念資料館連携　沖縄戦平和学習実践事例シェアリングプロジェクト
№８　【　県立宮古特別支援学校　】概要編

（　№８　県立宮古特別支援学校　）

校種、教科領域	公立・私立　　小　・　中　・　高　・　特支　・その他 教科（　　）・　道徳　・　総合的な学習の時間　・　その他
学校名（団体名） 住所・連絡先 Web／Email 担当者	県立宮古特別支援学校　（校長　喜久山　強） 住所：宮古島市平良字狩俣4005－1　℡：0980－72－5117、FAX：0980－72－5320 (Web)http://www.miyako-sh.open.ed.jp　，(Email)school@miyako-sh.open.ed.jp 川上真貴子教諭ほか
主な実践事例	○　児童・生徒の平和メッセージ　図画部門応募（入選あり） ○　特別支援学校における平和教育
概要	同校の取り組みとして二つの事例を紹介する。 １つ目は、当館主催の「児童・生徒の平和メッセージ」図画部門（特別支援学校の部）に同校から応募された作品を通した児童と保護者、担任の取り組みを紹介する。当館に作品を応募したきっかけは、同校に在籍する重度障害のある児童の母親が平和メッセージの募集を知ったこと。そこから、保護者と担任が協力しながら児童とともに作品の制作に取り組んだ。重度の障害のため、日々の体調を見ながらの取り組み。そこから見えることは、〝命の重さ〟と〝生きることへの強い意志〟。 「平和とは何か」という問いへのひとつの回答がここにあるのではないか。 ２つ目の事例は、６月の「慰霊の日」向けた平和月間の取り組みを紹介する。 事前学習として学校玄関前ふれあいホールにて「平和資料展」を開催。沖縄戦に関する資料を展示した。平和朝会では、校長・教頭による講話、高等部からは自作の詩の発表が行われた。朝会の最後では、全員で「いのちのリレー」を歌っている。平和集会では、平和コンサートも実施している。月間の事後学習として、各学部ごとに平和のために今何ができるのかを考え「平和の誓い」を各学級で作成している。
参考資料	□平和月間関係資料　　□活動記録（写真、動画、感想等）
当館との連携	○　児童・生徒の平和メッセージ
シェアリングにおける視点	○　特別支援教育における平和学習のあり方について